



TITLE:

<トピックス>キャンパス公開 (地震部門)

AUTHOR(S):

三浦, 勉

CITATION:

三浦, 勉. <トピックス>キャンパス公開 (地震部門). 技術室報告 2007, 8: 61-62

ISSUE DATE:

2007-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/233352>

RIGHT:

キャンパス公開（地震部門）

技機器開発班 三浦 勉

1. はじめに

2006 年 10 月 14 日、15 日の 2 日間宇治キャンパスの例年行事であるキャンパス公開が開催された。地震部門は 14 日に、地震予知研究センターとの合同での開催として、地震予知研究センター新館の玄関にパネル展示、センター長室で模型実験を行った。

2. 展示内容

今回の展示物は下記の通りである。

1. パネル 4 枚（写真 1（ア・イ・ウのパネル）、写真 2（エのパネル））
（ア）地震の始まり
（イ）南海地震
（ウ）近畿地方の歴史地震と活断層
（エ）地震を実験してみよう！（模型の説明パネル）
2. 地震の発生（写真 3）：断層地震、プレート地震の発生過程を模型で実験・解説
3. 振動台模型（写真 4）：耐震構造家屋模型と地盤の固さの違いによる家屋の揺れ方の実験・解説
4. 液状化模型：液状化現象の実験・解説
5. エッキー・紙ぶるる（写真 4）：液状化のペットボトル模型・紙ぶるるの模型で、液状化や建物の耐震構造有無の体験
6. 地震計及び簡単地震計（写真 5）：地震計の構造や地震観測方法を解説

担当者：浅田 Gr 長、西村補佐、中尾オブザーバーと三浦の 4 名。

3. 展示風景



写真 1 パネル展示



写真 2 パネル展示



写真3 地震の発生過程



写真4 振動模型とエッキー



写真5 簡単地震計



写真6 賑わいぶり

写真3の彼が東宇治中学の学生である。写真6が開催中の賑わい振りである。老若男女を問わず楽しめる場であったように思う。

4. まとめ

見学者は約30名とやや少なかったが、その分丁寧な対応が取れたように思われる。中には、去年の出前展示で赴いた東宇治中学の生徒も見学に来て、理科離れの対策の一環となったようにも感じるひと時があり、地道な活動も必要と再認識した。

最後に、共同開催を快諾、また、ご助力戴いた地震予知研究センターの諸先生にお礼申し上げます。